

## 原子力防災訓練 動員訓練(御前崎市との合同訓練)の実施について

2011年12月20日

当社は、御前崎市と合同で、地震災害を想定した夜間動員および情報連絡を確実にを行うための訓練を実施しましたのでお知らせします。

今回の訓練において、夜間でも必要な要員が確保できることを確認しました。また、原子力防災に係る自治体等との連携強化を目的として配備した通信手段により、御前崎市との情報連絡が適切に実施できることを確認しました。

### 1 訓練日時

2011年12月19日(月) 19時00分～21時00分

### 2 訓練場所

静岡県原子力防災センター(御前崎市災害対策本部) ほか  
当社施設(浜岡原子力発電所、本店、静岡支店、東京支社)

### 3 訓練概要

#### [訓練目的]

- ・夜間に地震災害が発生した場合においても、速やかに要員が参集し、対策本部の設置がおこなえることを確認する。
- ・地震災害によって通常の通信手段が使用不能となった場合においても、御前崎市と中部電力との情報連絡が適切に実施できることを確認する。

#### [訓練想定]

- ・夜間において、御前崎市で震度6強の地震を観測し、御前崎市全域が停電する。
- ・停電により御前崎市の対策本部は非常用ディーゼル発電機が起動する。浜岡原子力発電所(全号機停止中)は地震により外部電源が喪失し、非常用ディーゼル発電機が起動する。
- ・津波来襲により、浜岡原子力発電所(全号機)は非常用ディーゼル発電機の機能が喪失し全交流電源喪失に至る。これに伴い、緊急時対策所は専用の非常用ディーゼル発電機が起動する。
- ・津波収束後、浜岡原子力発電所は緊急安全対策を実施することにより原子炉の注水に必要な電源を確保する。

#### [訓練項目および内容]

訓練項目	訓練内容
要員の動員	夜間においても迅速に要員が参集し、対策本部の設置ができることを確認する
通信手段の確保	NTT 回線以外の複数の通信手段が確保できることを確認する
通報連絡および情報伝達	上記通信手段および中部電力から御前崎市への要員派遣により、確実な通報連絡および情報伝達を実施できることを確認する
現場の初動対応	現場要員の初動対応が適切に実施できることを確認する (模擬の現場で、装備等の確認をおこなった)



動員訓練の様子(発電所本部)



可搬型衛星電話TV会議システムによる情報連絡訓練(御前崎市災害対策本部)

以上